



Konrad
Adenauer
Stiftung



コンラート・アデナウアー財団
日本事務所

コンラート・アデナウアー財団は、ドイツ連邦共和国に本部を持ち、ドイツの政党・キリスト教民主同盟（CDU）と結びつきの深い政治財団です。

キリスト教民主同盟（CDU）の創設者の一人であり、ドイツ連邦共和国の初代首相でもあるコンラート・アデナウアー（1876-1967）は、戦後の西ドイツの復興やヨーロッパ統合、また社会的市場経済の実現に尽力した人物です。当財団は、コンラート・アデナウアーの政治家としての理念を引き継ぎ、国内外での様々な活動を通して、世界の平和、民主主義の普及のために貢献しています。

「自由」、「正義」、「連帯」が、コンラート・アデナウアー財団の活動における基本理念です。財団の主な活動には、政治教育、シンクタンクとしての学術的な政治研究や政治コンサルティング、意見交換の場としての会議・シンポジウム等の開催、奨学金の給付といったものがあります。現在、世界に80の事務所をもち、100以上の国でプロジェクトを行っています。





日本では、80年代の終わりに、また2007年から2010年までは、シンガポール事務所や韓国事務所を通して、活動をしていました。

アジア地域、また世界における日本の経済的、政治的な重要性と日独関係の更なる強化を念頭に、2010年、財団本部は、東京に事務所を新設することを決定しました。そして、2011年10月、日本事務所が開設され、財団の日本での活動が本格的に開始されました。

日本事務所は、日本国内のプログラムだけでなく、アジア地域経済政策プログラム (SOPAS) も担っており、財団全体の活動の中でも重要な役割を果たしています。



日本事務所の活動例：

<国内のプログラム>

● 記者会見

ミヒャエル・マイスター氏（ドイツ連邦議会議員、CDU/CSU
会派金融・予算委員会副委員長）（日本記者クラブ主催、
2013年2月）

● 講演会

フォルカー・カウダー氏（ドイツ連邦議会議員、CDU/CSU
会派院内総務）（2013年5月）



● 国際シンポジウム

少子高齢化をアドバンテージに変えるには
— 日独が目指す新しい社会・労働市場政策のかたち —
（国際交流基金との共催、2013年6月）

● KAS Japan Forum

国際安全保障対話と欧州の役割（2014年5月）



- **専門会議**

Japan Euro-Atlantic Security Dialogue on Maritime Domain (東京財団との共催、2014年5月)

- **国際会議**

アフガニスタン – これまでの教訓とこれからの道のり
(ベルリン日独センター、世界平和研究所と共催、
2014年9月)

<SOPAS>

- **国際会議**

The End of Double-Digit Growth – Implications for
Economic Sustainability in Asia
(開催地：バンコク、2014年1月)

- **円卓会議**

ザクセン州ティリッヒ首相とアジア諸国からのエコノミスト
との円卓会議
(開催地：東京、2014年3月)



- **国際会議**

Asia's Approach to Professional Corporate Social
Responsibility: Chances and Challenges for Closer
International Cooperation
(開催地：ホーチミン、2014年11月)



コンラート・アデナウアー財団 日本事務所

〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-56

ドイツ文化会館 4階

Tel: 03-6426-5041

Fax: 03-6426-5047

E-Mail: KAS-Tokyo@kas.de

www.kas.de/japan/

www.facebook.com/KAS.Japan



東京メトロ 青山一丁目駅 4番出口 徒歩5分